

きんもくせい

令和6年7月12日発行
静岡県養護教諭研究会
代表 中島 由紀江
(富士宮市立富士宮第一中学校)



子供たちの未来のために

静岡県養護教諭研究会顧問校長 田中 浩美

令和6年度静岡県養護教諭研究会の活動が新体制のメンバーによって始まりました。今年度のテーマは「子供の未来のために ～伴走者としての養護教諭～」だということです。静岡県の養護教諭が連携して資質の向上を目指す研究会の活動が、今年度も充実したものとなりますようお願いしております。

私は、学校における養護教諭の存在は大きいと考えています。児童生徒の保健管理だけでなく、教職員への協力や情報交換、チーム学校の一員としての生徒指導面での役割など、多くの場での活躍が求められています。養護教諭の資質の向上は、学校組織の全体のためにも重要なことなのです。

そんなときに、この研究会の活動は大きな意味をもっていると考えられます。複数配置校を除けば、多くの学校で養護教諭は1人です。養護教諭の職の特性や専門性を生かした学びを続けるためには、同じ職同士の連携は欠かせません。

静岡県養護教諭研究会は、県内の養護教諭が集い、情報を共有して、共に学ぶ貴重な組織です。今年度も、子供たちの未来のために学び、着実に力量を向上させることができるように願っています。

一方で、この研究会の活動においては、持続可能なあり方も求めていただきたいと思います。会長を始めとする役員メンバーと、県内の養護教諭が、主体的に考え、よりよい活動を目指して改革していくことも願っています。私も共に考えていきたいと思います。

各委員会の活動が始まりました！



各委員会では、時代のニーズに合った内容となるよう、検討を行っています。会員の皆様には、調査や事例提供等の依頼をさせていただきますので、御協力お願いいたします。



たちばな 67号編集委員会

◎委員長 ○副委員長

「たちばな」では、たくさんの方々に協力をいただきながら、皆様の実践や思いをお届けしています。今後は、「会誌」としての役割を果たしながら、内容を精選する等のスリム化についても検討していきたいと考えています。

◎飛田 絵理	役員	沼津市立第四中学校	○宮川 仁美	役員	静岡市立中島中学校
杉山亜希子	役員	伊豆市立中伊豆中学校	小池美由貴	役員	富士宮市立山宮小学校
高鳥こずえ	静岡	伊東市立南小学校	加藤 綾香	静岡	静岡市立服織西小学校
大倉 志歩	静岡	磐田市立竜洋中学校	大場 佳澄	浜松	浜松市立引佐南部中学校



実践事例集 19 編集委員会

実践事例集 19 では、学校管理下での事故事例から現状の実態に即した効果的な事後の対応のあり方について探っていきます。「事前の危機管理」に特化した実践事例集 13 をさらに発展させ、より多くの場面で活用できる実践事例集を作成したいと思います。

◎秋澤 真里	役員	静岡市立大里中学校	○大石 陽子	役員	裾野市立東中学校
鈴木 教子	役員	藤枝市立青島小学校	木内 麗子	役員	富士市立吉原第一中学校
岡田 夏美	静岡	伊豆市立熊坂小学校	齋藤 直子	静岡	三島市立北小学校
里見 恵	静岡	静岡市立高松中学校	池尻 暁子	静岡	静岡市立清水辻小学校
伊藤 郷子	静岡	掛川市立西山口小学校	横山 真弓	静岡	牧之原市立相良小学校
野沢 信恵	浜松	浜松市立浜名小学校			



調査研究委員会

調査結果を分析し、様々な立場の方に分かりやすくお伝えできるようまとめていきます。継続して行うことで、私たちの資質向上を図るための、環境改善に生かされていく大事な調査です。本年度もよろしくお願ひします。

◎竹嶋 ゆか	役員	掛川市立桜が丘中学校	○鈴木 充世	役員	浜松市立白脇小学校
佐野 雅子	役員	富士宮市立内房小学校	浅田美由紀	静岡	伊豆の国市立大仁小学校
浦山 恭子	静岡	静岡市立清水入江小学校	鈴木 友美	静岡	湖西市立白須賀中学校
小坂橋詩子	静岡	富士市立東小学校	平出 紗弥	静岡	静岡市立清水興津中学校
松澤 恵	静岡	藤枝市立葉梨西北小学校	松下 芙美	浜松	浜松市立雄踏中学校



ホームページ編集委員会

研究会の活動や職務に関わる情報を発信しています。HPを安定して運営するため、年度内に業者管理に移行することにしました。8月中旬から3か月程、一時的にHPが閲覧できなくなりますが、皆様の御理解、御協力をお願いします。

◎秋定 宏子	役員	浜松市立富塚小学校	○関口 操	役員	袋井市立高南小学校
土屋 智恵	静岡	下田市立白浜小学校	杉村 多恵	静岡	静岡市立蒲原東小学校
内山 佳子	静岡	焼津市立焼津西小学校	高橋 里紗	浜松	浜松市立西都台小学校

静岡県養護教諭研究会

夏季研修会を開催します！



近年、子供のインターネット利用をめぐる様々な問題が発生しています。そこで、今年度は、獨協医科大学 埼玉医療センター 子どものこころ診療センター 准教授の井上 建氏から「子どもたちのネットとゲーム依存について多角的に考える」と題して、御講演をいただきます。子供たちの未来のために、会員の皆様とともに考えていきたいと思ひます。